

古賀市生涯学習笑顔のつどいについて（概要）

1. 取り組みの経緯と目的

平成 25 年に第 2 次古賀市生涯学習基本計画が策定されるにあたり、平成 24 年度の社会教育委員の会議において、提言『第 2 次古賀市生涯学習基本計画策定に向けて』を提出しました。

その提言において、①いつでも学べる環境づくり②人と人をつなぎ、学びの仕組みづくり③地域がつながる、学びの場の支援について述べるなかで、具体的な対策として「生涯学習市民会議（仮称）」の設置を求めました。

そして、社会教育委員が中心となり古賀市を生涯学習社会へと発展させていくための「場」として「生涯学習市民会議（仮称）」が実現することとなり、事業名を「生涯学習笑顔のつどい」とし、平成 26 年 6 月に第 1 回目を開催。テーマは古賀市の生涯学習の新たな幕開けをイメージし「新しい朝がきた」としました。

2. 古賀市生涯学習笑顔のつどいの経過

「生涯学習笑顔のつどい」は第 1 回から第 5 回にかけて、市内の各地域で活動されている多彩な社会教育関係の団体の方々に活動発表をしていただき、参加者の活動の広まりや深まりに大きな刺激となったと考えます。このことから、社会教育の地域での活動を交流し・学び・拡げ、地域づくり・人づくりに活かすという当初の目的は達成できたと考え、第 5 回目をもって、「笑顔のつどい」の第 1 ステージを終了しました。

「生涯学習笑顔のつどい」第 2 ステージでは、共感や相互のつながりがより深まることをねらいとして、第 6 回は分科会形式で行いました。その後新型コロナウイルス感染症の流行により 2 度の延期を経て、第 7 回はパネルディスカッション形式としましたが、そのコロナ禍の中での活動という、現在すべての団体が直面する問題に対する解決策を模索しました。

3. 笑顔のつどいが大切にしていること

笑顔のつどいの企画にあたり、「古賀市の活動団体の発表をメインにする」ということを意識しています。著名人の講演等ではなく、日々熱意を持って活動している方々の姿を、多くの人に知らせ共感を得ることが大切と考えているからです。そのため、多様な団体を発掘し、いろんなジャンルの活動を紹介することを心がけています。

また、古賀市で一人ひとりの人生を豊かにする生涯学習活動に携わっているさまざまな人や団体が集い、地域や分野の垣根を越えてそれぞれの活動が交流し合う場をつくり、そして参加者の皆さんが笑顔になれることをめざして開催しています。